

確定申告会場に来場する皆さんへの 廿日市税務署からのお願い。

問い合わせ
廿日市税務署 ☎0829321217

確定申告会場に来場する場合は、次の点に注意してください。

申告会場は入場整理券が必要

確定申告会場の混雑緩和のため、入場できる時間枠が指定された「入場整理券」が必要です。

入場整理券は各会場当日配付しますが、LINEを通じてオンライン事前発行も可能です。

入場整理券の配付状況に応じて、後日の来場をお願いする場合があります。

LINEの登録はこちらから▼



検温・マスク着用・消毒を
新型コロナウイルス感染症対策として、入場の際の検温、マスクの着用、手指消毒をお願いしています。37.5度以上の発熱がある場合や検温に協力していただけない場合は、入場をお断りさせていただきます。

最小限の人数での来場を

会場の駐車場は台数に限りがありますので、来場の際には公共交通機関を利用してください。

また、会場には申告する方1人でお越しください。介助を要するなどの理由により複数名でお越しになる場合には、必要最小限の人数でお越しください。

確定申告に関する一般的な相談は

確定申告に関する一般的な相談や確定申告書の用紙を希望される場合は、廿日市税務署へ電話の上、音声ガイドに「0番」を選択すると、確定申告テレフォンセンターにつながります。なお、確定申告テレフォンセンターの開設期間は、1月15日(金)から3月15日(月)までです。
※土・日曜日、祝日を除く。



税の無料相談

税理士記念日行事として、中国税理士会が、無料の相談会を行います。

とき 2月22日(月) 9時~16時(予約不要)

ところ 総合市民会館

令和3年度から適用される 市県民税の税制改正

問い合わせ
市民税務課 ☎59-2128

働き方の多様化を踏まえ、「働き方改革」を後押しするなどの観点、また、全てのひとり親家庭の子どもに対して公平な税制を実現する観点から、令和3年度の市県民税の税制改正が行われます。詳しくは市ホームページをご覧ください。

主な改正点

- 給与所得控除額・公的年金等控除額の引き下げおよび基礎控除への振替（控除額の見直し）
- 所得金額調整控除の創設
- 非課税基準、扶養親族などの合計所得金額要件など見直し
- ひとり親控除の創設と寡婦控除の見直し

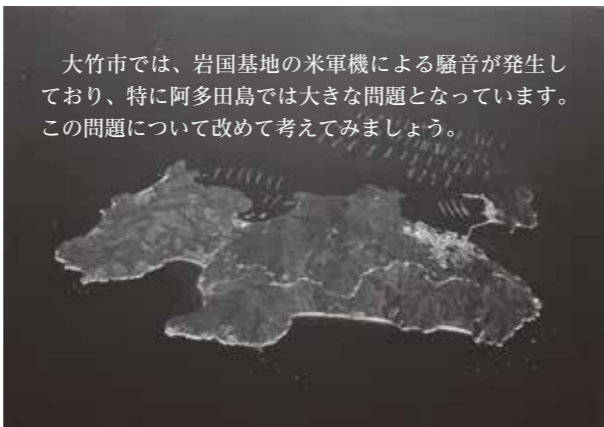
イベントの中止などによる チケット払い戻し請求権を 放棄した場合の 寄付金税額控除



問い合わせ
市民税務課 ☎59-2128

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、政府の自粛要請を踏まえて中止・延期・規模の縮小が行われた文化芸術・スポーツイベントについて、チケットの払い戻しを受けない（放棄する）場合に、その金額分を寄付とみなして、寄付金税額控除を受けられる制度が創設されました。

対象となるイベントについては、文化庁またはスポーツ庁のホームページから確認できます。また、市ホームページからも確認できます。



大竹市では、岩国基地の米軍機による騒音が発生しており、特に阿多田島では大きな問題となっています。この問題について改めて考えてみましょう。

問い合わせ
危機管理課 ☎592119

岩国基地に所属する 米軍機による 大竹市の騒音状況

なぜ騒音問題が起きているの？

「再編実施のための日米ロードマップ（平成18年5月）」に基づき、米軍再編計画として、平成30年3月に米海軍の空母艦載機60機あまりが、厚木飛行場から岩国飛行場に移駐してきました。

これにより、岩国基地は120機を超える米軍機が駐機する、極東最大級の基地となりました。

このことが、大竹市やその周辺地域のさらなる騒音問題という形で、住民の生活に多大な影響を及ぼしています。

なぜ音が大きくなるの？

岩国基地に駐留する米軍機のほとんどが、ジェット戦闘機タイプで、大出力のエンジンを搭載しているため、訓練飛行などを行うことで、その飛行音も非常に大きなものとなります。

特に阿多田島は、岩国飛行場からわずか7kmに位置し、滑走路が沖出しされて以降、米軍機が北向きに離陸した際の飛行ルート直下となるため、島の住民は日々航空機騒音に悩まされています。

市域はどのくらいの騒音なの？

下の表は、実際の航空機騒音発生状況を広島県が半年ごとに集計し、公表している資料です。（今回は令和2年度上半期分）

県内6地点の騒音測定器で70デシベル以上（大声を出さなければ会話が聞き取れない）を計測した回数を、半年ごとに示したのですが、この合計計測回数のうち、実に50%以上が阿多田島で計測されたものとなっており、この地域の騒音の激しさを推し量ることができます。

最近の岩国基地の米軍の動向は？

岩国基地には、米海兵隊と米海軍の各飛行隊が駐留しています。

このうち、米海兵隊の飛行隊が運用している戦闘攻撃機F/A-18ホーネット部隊の機体（約12機）が、最新鋭のステルス戦闘機であるF-35B（約16機）へ機種更新されました。

市の方針は？

市は、米軍再編計画について

国設置の騒音測定器における航空機騒音（70dB以上）の発生状況

測定地点 (国測定器設置箇所)	H29年度 (上期) (移駐完了前) (A)	H30年度 (上期) (移駐完了後) (B)	R元年度 (上期) (C)	R2年度 (上期) (D)	対H29増加 回数(倍率) (D-A) (D/A)	対R元増加 回数(倍率) (D-C) (D/C)
県内設置(6地点) 合計	1,509回	2,636回	3,080回	2,179回	670回 (1.4倍)	▲901回 (0.7倍)
岩国飛行場周辺						
大竹市 阿多田島	832回	1,686回	1,843回	1,182回	350回 (1.4倍)	▲661回 (0.6倍)
大竹市 西栄	52回	53回	45回	54回	2回 (1.0倍)	9回 (1.2倍)
廿日市市 宮島	86回	162回	185回	210回	124回 (2.4倍)	25回 (1.1倍)
廿日市市 八坂公園	162回	305回	429回	248回	86回 (1.5倍)	▲181回 (0.6倍)
江田島市 沖美	32回	88回	58回	47回	15回 (1.5倍)	▲11回 (0.8倍)
広島県北西部地域						
北広島町 西八幡原	345回	342回	520回	438回	93回 (1.3倍)	▲82回 (0.8倍)
北広島町 荒神原	—	266回	325回	275回	—	▲50回 (0.8倍)
安芸太田町 戸河内	—	83回	85回	54回	—	▲31回 (0.6倍)

(中国四国防衛局公表資料を基に作成。欠測期間を含む場合がある)

では、容認の立場を示して再び、このため国から受ける再編交付金という財政支援により、さまざまな政策を実施し、市民生活に寄与しています。しかし、住民の生活を脅かすような騒音の増大を容認しているのではなく、地域の安心・安全対策や騒音の軽減について、しっかりと対応していくよう、引き続き国や米軍に要望を行っていきます。